

● 事務局だより ●

◇ 第四十二号をお届けいたします。

本号では、平成九年度分から新たに資料のご提出をいただいた兵庫県・福岡県の紛争事例をご紹介します。

最近の紛争事案の要旨と対応・結果等も載せていますので、業務のご参考に供していただけるものと存じます。

◇ 最近の判例を数多く掲載しております。

最高裁の判例については、マンション駐車場の専用使用権の分譲対価の帰属の問題、および報酬請求権の一部請求敗訴後の残部の請求の訴えの提起が許されるかという問題の二件です。

また、値下げ販売、類似商号の使用差止め、ローン解約と真摯な努力義務、マンションをめぐる様々な問題なども紹介しております。なお、前号から、掲載した判例の索引を作成しておりますので、ご利用下さい。

◇ 本年度の宅地建物取引主任者資格試験の結果につきましても、例年どおり掲載しました。協力機関の方々はじめ、関係の方々には、

ご一読いただきたいと存じます。

◇ 来る三月十六日、第四十九回の講演会を開催いたします。今回は、弁護士の方田純先生に「バブル崩壊期の不動産取引の紛争について―変動期における不動産取引と新たな法理の誕生―」と題してご講演いただきます。

お役に立つところが大きいと思いますので、多数ご聴講されますよう、希望します。

◇ このたび、次の二冊の書籍を刊行いたしました。

一冊は、「宅地・建物取引の判例(6)―平成六〇八年度―」です。不況の時期にあたるこの期間の判例六十八件について、事案と判決を簡潔に、紛争の要因ごとに分類して掲載しています。

もう一冊は、「都道府県の窓口における不動産取引紛争事例要旨集(平成九年度)」です。標題のとおり、主要八都道府県の紛争相談窓口で受け付けた紛争案件の要旨とほとんどの案件について対応の状況、解決結果等も掲載しています。

さらに、近く「不動産仲介の法律知識」の再改訂版も刊行いたします。それぞれ、ご利用下さい。

◇ 宅建業免許事務(OA事業)の第二次システム開発につきましては、昨年十二月九日、OA部会およびシステム等検討委員会を開催し、内部仕様(詳細設計)を確定いたしました。

これをうけて、プログラムの作成を進めているところです。

また、来る三月二十四日には、システム等検討委員会を開催し、第二次システム対応の端末機設置等について検討していただく予定です。

◇ 人事異動

〔平成十年十一月三十日〕

退職

調査研究部長

飯島 正